

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 8 月 16 日 (2024.8.16)

【公開番号】 特開 2023-33860 (P2023-33860A)
【公開日】 令和 5 年 3 月 13 日 (2023.3.13)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2023-047
【出願番号】 特願 2021-139786 (P2021-139786)
【国際特許分類】

G 0 9 F 9/30 (2006.01)
G 0 2 F 1/133 (2006.01)
G 0 2 F 1/1343 (2006.01)
G 0 2 F 1/1368 (2006.01)

10

【F I】

G 0 9 F 9/30 3 4 9 C
G 0 9 F 9/30 3 0 8 Z
G 0 2 F 1/133 5 8 0
G 0 2 F 1/1343
G 0 2 F 1/1368

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 8 月 7 日 (2024.8.7)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板本体と、
前記基板本体に設けられた半導体層を有するセンサー素子と、
前記半導体層と平面視で重ならず前記基板本体に設けられた配線と、
前記基板本体と前記半導体層との間に配置され、前記半導体層と平面視で重なる第 1 遮光層と、
前記基板本体と前記半導体層との間に配置され、前記配線と平面視で重なる第 2 遮光層と、
を備え、
前記第 1 遮光層と前記第 2 遮光層とは、平面視で離隔していることを特徴とする電気光学装置。

30

【請求項 2】

請求項 1 に記載の電気光学装置において、
前記第 1 遮光層と前記第 2 遮光層とは、同一の層において絶縁膜を介して配置されていることを特徴とする電気光学装置。

40

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の電気光学装置において、
前記センサー素子は、直列に電氣的に接続された複数のダイオード素子を備えることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の電気光学装置において、
前記第 1 遮光層は、前記複数のダイオード素子を構成する前記半導体層の全体に対して

50

平面視で重なっていることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の電気光学装置において、

前記第 1 遮光層は、前記複数のダイオード素子を構成する各々の前記半導体層のアノード領域と平面視で重なる第 1 部分と、カソード領域と平面視で重なる第 2 部分とが平面視で離隔していることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の電気光学装置において、

前記第 1 部分と前記第 2 部分とは絶縁膜を介して配置されていることを特徴とする電気光学装置。

10

【請求項 7】

請求項 1 から 6 までの何れか一項に記載の電気光学装置において、

前記配線には、定電位が印加される定電位線が含まれていることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 8】

請求項 1 から 6 までの何れか一項に記載の電気光学装置において、

前記配線には、交流信号が印加されることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 9】

請求項 1 から 8 までの何れか一項に記載の電気光学装置において、

前記基板本体と前記半導体層との間に配置され、交流信号が印加される信号線と平面視で重なる第 3 遮光層を備え、

20

前記第 3 遮光層と前記第 1 遮光層とは、平面視で離隔していることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の電気光学装置において、

前記第 3 遮光層と前記第 1 遮光層とは絶縁膜を介して配置されていることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 11】

請求項 1 から 10 までの何れか一項に記載の電気光学装置において、

前記第 1 遮光層と前記第 2 遮光層との間の距離は、前記第 1 遮光層と前記半導体層との間の距離より長いことを特徴とする電気光学装置。

30

【請求項 12】

請求項 1 から 11 までの何れか一項に記載の電気光学装置を備えることを特徴とする電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

40

上記課題を解決するため、本発明に係る電気光学装置の一態様は、基板本体と、前記基板本体に設けられた半導体層を有するセンサー素子と、前記半導体層と平面視で重ならず前記基板本体に設けられた配線と、前記基板本体と前記半導体層との間に配置され、前記半導体層と平面視で重なる第 1 遮光層と、前記基板本体と前記半導体層との間に配置され、前記配線と平面視で重なる第 2 遮光層と、を備え、前記第 1 遮光層と前記第 2 遮光層とは、平面視で離隔していることを特徴とする。

50